
クリエイティブ飛鳥
未来への風プロジェクト
Creative asuka. "KAZE" project to the future

「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2023年度 実施報告書

発行日：2024年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0142 奈良県高市郡明日香村橘21番地(明日香村教育委員会文化財課 内)

TEL：0744-54-5600 FAX：0744-54-9030

2023年度 実施報告書



Creative飛鳥・未来への風プロジェクト 第10回「明日香の匠」展を終えて

昨今の地球を取り巻く厳しい世界情勢のなか、記念すべき第10回「明日香の匠」展が開催され、無事に終了できたことは、ご同慶に存じます。

このプロジェクトは、うまし風土の明日香を耕し、新たな種子を播きながら未来に向かって明日香発信の芸術文化を育て、村民の感性をゆさぶり、豊かな感受性と生きる充実感を共感し感得する試みです。

今回、明日香にゆかりのある出品作家は39名で、作品は60点の力作を陳列いたしました。また、招待作家として、書道家の吉川美恵子先生、そして版画家の前田政晴先生の協賛出品をお願いしました。

会期中の来館者も2,500人を超え、明日香の匠への関心と、世界遺産登録への期待と明日香の文化的環境の充実感が高まりました。

さらに、韓国・百済出身の石彫作家・崔召東先生には来日し、10回展のために制作実演活動を披露していただき、古代から現代への架け橋としての国際交流が見える形で具現化したその作品は、少なくとも千年にわたり、メッセージをつたえてくれるでしょう。

最後になりましたが、この展覧会を開催するにあたり、奈良県立万葉文化館の清逸な会場の提供と明日香村の関係者の多大なるご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和6年 桃花月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会
実行委員長 脇田 宗孝

Creative飛鳥・未来への風プロジェクト 事業概要

■コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ(創造性あふれる)」をキーワードに、

- (1)日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、
- (2)明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、
- (3)次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、
- (4)未来志向型の村づくりを実現するために、
長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

■事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村にゆかりのある作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

■主催・運営

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

事務局／明日香村教育委員会文化財課 内(〒634-0142 奈良県高市郡明日香村橘21番地)

■実行委員会構成メンバー

実行委員長	脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)
副実行委員長	松岡 剛宏(バトン歌手・明日香村社会教育委員)
実行委員	鳥頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)
実行委員	境山 正甫(明日香村文化協会会長)
実行委員	森本 哲二(奈良県立万葉文化館副館長)
実行委員	田中 祐二(明日香村教育委員会教育長)

※組織及び肩書は開催当時のものです

■実行委員会の開催

第1回	2023年 5月31日(水)9:45～	明日香村中央公民館会議室
第2回	2024年 1月24日(水)10:00～	明日香村中央公民館会議室

■2023年度 実施概要

I)「明日香の匠」展

内容：明日香村を拠点に活動する作家39名(公募により選考)及び特別出品作家2名による作品展を開催。

期間：2024年2月10日(土)～2月18日(日)※但し、2月13日(火)は休館
10:00～17:30(受付／17:00まで)

会場：奈良県立万葉文化館 1階 企画展示室(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

特別出品作家：前田 政晴(木版画)
吉川 美恵子(書芸)

出品作家：鳥頭尾 精(日本画)、鳥頭尾 忠子(日本画)、島田 眞澄(日本画)、東 紀子(日本画)、生駒 三恵(洋画)、鳥頭尾 南美(洋画・書芸)、奥村 とも子(洋画)、勝川 喜昭(洋画)、勝川 京子(洋画)、川本 恵(洋画)、橘 忍(洋画)、上田 孝文(木版画)、渡会 美枝子(墨画)、木野村 由比子(陶芸)、鈴木 乃り子(陶芸)、竹田 阿野胡(陶芸)、谷口 美佐子(陶芸)、辻本 直人(陶芸)、西 黎子(陶芸)、脇田 宗孝(陶芸)、高橋 直樹(ガラス造形)、安田 麻里(ガラス造形)、高内 百合子(染織)、F. きりた さゆり(彫刻)、上田 由美子(写真)、上山 好庸(写真)、梅田 耕吉(写真)、島田 真希(写真)、白水 泉(写真)、柳 敏明(写真)、稲垣 小燕(書芸)、井上 輝好(書芸)、境山 正甫(書芸)、中井 功子(書芸)、岡本 路子(紙画)、森本 敏行(切り絵)、森脇 新一郎(彫り絵)、坂本 博子(パッチワークキルト)、折坂 諭(楽器製作)

展示構成：株式会社アートキャリアッジ

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

共催：奈良県立万葉文化館

後援：明日香村、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、公益財団法人古都飛鳥保存財団、一般社団法人飛鳥観光協会

入場料：無料

入場者数：2,536名

II)飛鳥アートヴィレッジ

内容：「明日香の匠」展が本年度で第10回目を迎えることを記念して、明日香村にアーティストを招聘し、滞在しながら作品の制作・発表を行うアーティスト・イン・レジデンスを開催。飛鳥の歴史・文化をアートで表現しながら新しい明日香村の魅力・価値を創出し、広く発信することを目的とする。また、作品の制作過程を一般公開するなど、芸術振興や地域交流のための企画も実施。

期間：2024年2月4日(日)～2月17日(土) 9:00～16:30

会場：石舞台駐車場(奈良県高市郡明日香村島庄)

招聘作家：百済の石彫作家 崔 召東(チェ・ドン)

アシスタント：1名

公開制作：見学無料

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会



第10回

「明日香の匠」展

2024.2.10[SAT]-18[SUN]
奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室





「大和は國のまほろば」



「木花之佐久夜」



「こもよみこもち」

特別出品作家 版画家 前田 政晴 (まえだまさはる)

profile

1942年 奈良県生まれ
 1964年 大学の集中講義で木版画家川西 英に多色木版画の手ほどきを受ける
 1965年 奈良学芸大学(現教育大学)中学校教員養成課程美術専攻卒業
 1968年 奈良県展で第3席県議会議長賞受賞
 1972年 第46回国展に初入選以降毎回出品
 1978年 国展野島賞受賞
 1979年 国画会会友(現準会員)に推挙される
 1980年 国展会員・審査員に推挙される

1992年 第2回BHARAT BHAVAN現代版画ビエンナーレに出品(インド・ポバル)
 1995年 環太平洋国際版画ビエンナーレに出品(ハワイ大学ヒロキャンパスCenter Gallery)
 1997年 奈良県立美術館に作品12点收藏される
 2001年 第75回国展記念特別展示 各部選抜作家による「私の世界」に出品
 2010年 奈良県立美術館館蔵品展「奈良百景」展に4点展示
 2015年 公募団体ベストセレクション美術2015展に出品
 2017年 英国・米国・日本・中国国際展に招待出品(中国／浙江省舟山市美術館)
 個展15回(大阪梅田・画廊みやざき・大阪梅田・茶屋町画廊・大阪上本町・近鉄上本町店美術画廊・東京銀座・シロタ画廊・近鉄百貨店奈良店美術画廊・奈良県立文化会館B展示室)
 グループ展多数

現在

国画会会員・審査員
 奈良県美術人協会会員



「やまとの國」

特別出品作家

書道家 吉川 美恵子 (よしかわ みえこ)

profile

1948年 奈良県生まれ
 1967年 奈良県立奈良高等学校卒業、平田華邑先生に師事
 1971年 奈良教育大学特設書道科卒業
 1972年 日展初入選(以後28回入選)
 1987年 読売書法展読売新聞社賞受賞
 2000年 奈良教育大学教授、日展特選受賞
 2004年 日展特選受賞
 2005年 奈良新聞文化賞受賞
 2010年 日展審査員就任(以後2回就任)
 2011年 現代書道二十人展「俊秀五人展」出品
 2014年 個展「吉川美恵子書作展」(奈良県文化会館)
 2015年 日展会員賞受賞
 2016年 現代書道二十人展出品(～現在)
 2019年 日展東京都知事賞受賞

現在

日展特別会員
 読売書法会常任理事
 日本書芸院副理事長
 青丹会会長
 奈良教育大学名誉教授

※特別出品作家2名の組織及び肩書は開催当時のものです



日本画／烏頭尾 精 (うとおせい)
「あすか・夏」



日本画／烏頭尾 忠子 (うとおただこ)
「花と木の鳥」



日本画／島田 眞澄 (しまだますみ)
「杉Ⅰ」「杉Ⅱ」



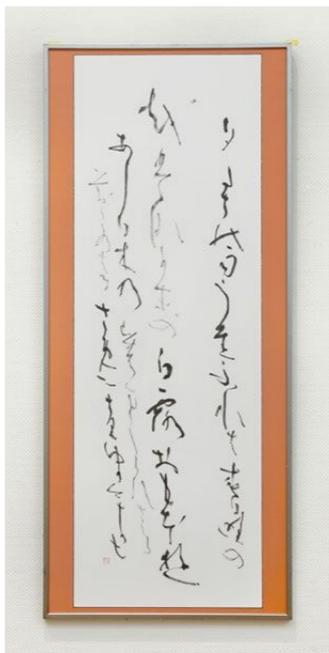
日本画／東 紀子 (ひがしのりこ)
「地の草」「天の実」



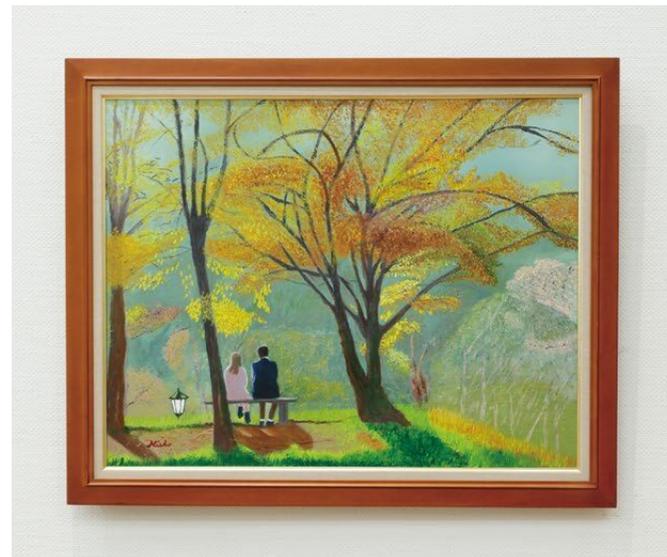
洋画/生駒 三恵 (いこまみえ)
「尾曾の毘沙門さん」
「絵本 尾曾の毘沙門さんより『にほんあしのむかで』」



烏頭尾 南美 (うとおなみ)
洋画/「散りと芽吹き」
書芸/「明日香の自然と雨」



洋画/奥村 とも子 (おくむらともこ)
「新緑の飛鳥川」



洋画/勝川 喜昭 (かつかわきしょう)
「風景」



洋画／勝川 京子 (かつかわ きょうこ)
「明日香の風」



洋画／川本 恵 (かわもと めぐみ)
「明日香路」



木版画／上田 孝文 (うえだ たかふみ)
「千手観音」 「心おどる夏」

洋画／橘 忍 (たちばなしのぶ)
「鬼の雪隠」



墨画／渡会 美枝子 (わたらい みえこ)
「天文図」「キトラ」



陶芸／木野村 由比子 (きのむら ゆいこ)
「アンデス追憶・自然」「アンデス追憶・遺跡」



陶芸／鈴木 乃り子 (すずきのりこ)
「飛鳥川」



陶芸／竹田 阿野胡 (たけだ あやこ)
「布目泥彩文器『夏盛り』」



陶芸／谷口 美佐子 (たにぐちみさこ)
「愉快的二重奏」



陶芸／西 黎子 (にしれいこ)
「いつか会いに行きたい コスタリカへ」

陶芸／辻本 直人 (つじもとなおひと)
「織部皿『熊野(くまの)』」
「織部壺『青垣(あおがき)』」



陶芸／脇田 宗孝 (わきたむねたか)
「金彩飛鳥早蕨文華壺」 「銀彩飛鳥早蕨文華壺」

ガラス造形／高橋 直樹 (たかはし なをき)
「ランプ」「タマゴとカラ」



ガラス造形／安田 麻里 (やすだまり)
「地の糧」



染織／高内 百合子 (たかうち ゆりこ)
「夕景」



彫刻／F. きりた さゆり (えふきりた さゆり)
「迎えにくる」「立って木を見る その足で」



写真／上田 由美子 (うへだ ゆみこ)
「春の始動」「希望の明日へ」



写真／梅田 耕吉 (うめだ こうきち)
「春うらら」「涼」



写真／上山 好庸 (うえやま よしのぶ)
「静謐」「紫霄」



写真／島田 真希 (しまだ まき)
「waterfront」

写真／白水 泉 (しろうずいずみ)
「女帝が眠る八角墳」 「春の夜桜」



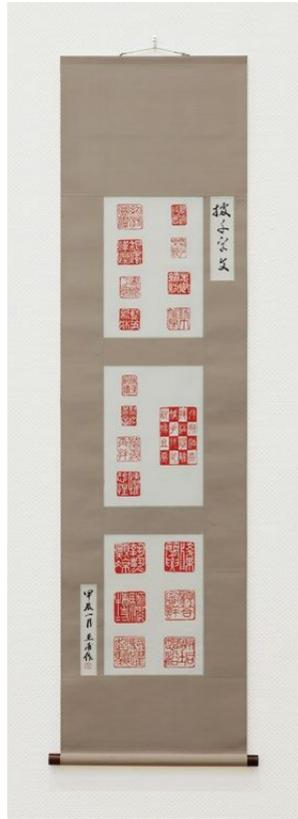
写真／柳 敏明 (やなぎとしあき)
「春の宵」 「寒暁」



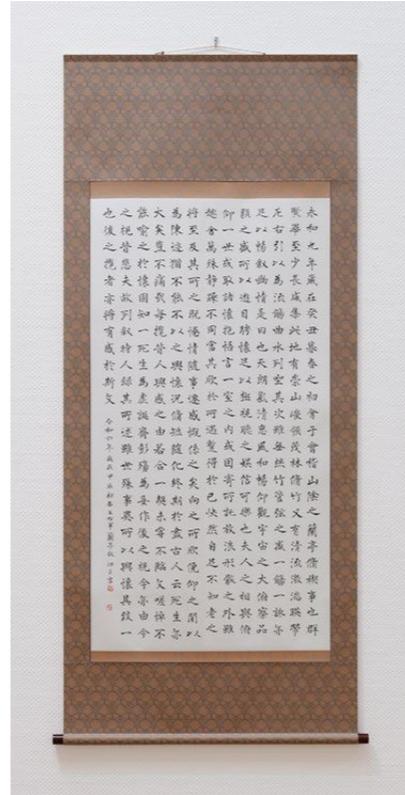
書芸／稲垣 小燕 (いながきしょうえん)
「而今」



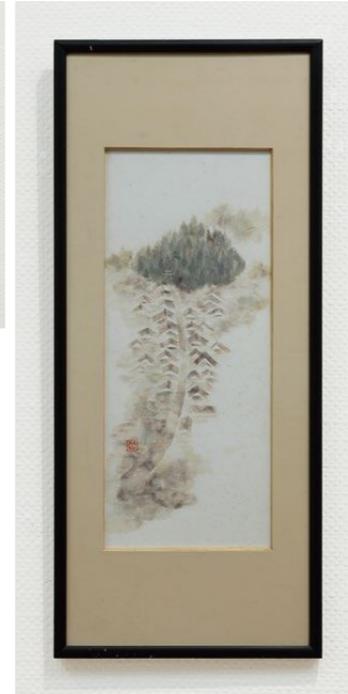
書芸／井上 輝好 (いのうえてるよし)
「蕪村の俳句12句」



書芸／境山 正甫 (きょうやままさもと)
「據千字文」「万葉歌」



書芸／中井 功子 (なかいのりこ)
「蘭亭叙」



紙画／岡本 路子 (おかもとみちこ)
「雪の朝」「飛鳥坐神社」



切り絵／森本 敏行 (もりもととしゆき)
「あさがお」「滝と紅葉」



彫り絵／森脇 新一郎 (もりわきしんいちろう)
「飛鳥Ⅰ」「飛鳥Ⅱ」



パッチワークキルト／坂本 博子 (さかもとひろこ)
「飛鳥資料館にて山田寺を偲ぶ」「鳶〜明日香村栢森」



楽器製作／折坂 諭 (おりさかさとし)
「ギター『音波』・磬架」



「明日香の匠」展 創設10周年記念事業

日本の起源で「美」を拓く。

飛鳥アートヴィレッジ

招聘作家 | 百済の石彫作家
崔 召東
Che So Dong

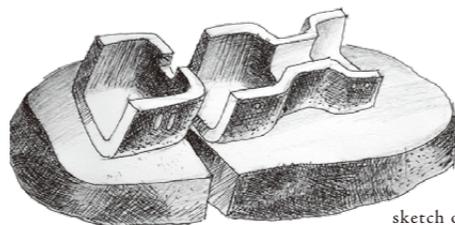
Sodong Choe

「明日香の匠」展が第10回目の節目を迎えるのを記念して、
崔 召東氏を明日香村に招聘し、滞在しながら作品の制作・発表を行う
アーティスト・イン・レジデンス「飛鳥アートヴィレッジ」を開催。
飛鳥の歴史・文化をアートで表現しながら新しい明日香村の魅力・価値を創出し、
広く発信することを目的とする。また、作品の制作過程を一般公開するなど、
芸術振興や地域交流のための企画も実施。

公開制作 | 見学無料

2024.
期間：**2/4**_{SUN} → **17**_{SAT} 9:00-16:30

会場：石舞台駐車場 (奈良県高市郡明日香村鳥庄)



sketch of the artwork

PROFILE



崔 召東 (Sodong Choe)

■ BORN

1965.1.17.Chung Buk Province, Republic of Korea

■ EDUCATION

1992 Mok Won University ...Graduation

1994 Mok Won University ...Master's Degree

■ AWARDS

1993 First OITA Asian Sculpture Open Competition, Japan (Grand prize)

2009 The 5th China (HUI AN) Stone Carving Competition, China (Second prize award)

2012 The 2nd Wuhu "Liu Kaiqu Award", China (Silver prize award)

2013 The 2nd Lih-Pao International Sculpture Biennial Awards In Taiwan (Excellent prize award)

2015 The 7th Tehran Annual International Sculpture Symposium In Iran (First prize award)

2015 The 3rd Lih-Pao International Sculpture Biennial Awards In Taiwan (Excellent prize award)

2022 Home of Southern Confucianism, Global call for public Art project in Quzhou,China (Second prize award)

2022 Bienal Del Chaco in Argentina (Second prize award)



2022 Beijing Winter Olympic Public Sculpture



2023 Zhengzhou International Sculpture Competition in China

CONCEPT

古代から現代へ そして未来につなぐ石の語らい

現代社会には、国家・宗教・人種間の諍いがありますが、

病気・イデオロギー・自然災害などの出来事は、いつかは克服されていくことでしょう。

私は、古代人の生み出した文化や遺跡に強い関心があり、それらには無限の力を感じます。

私の創作するコンセプトは、古代から未来につなぐことでもあります。

明日香に残された石造物は、無尽の心を今に伝えています。

それらを創造した古代の工人の生命には限りあるものですが、遺跡の自然石に刻まれた石造物は、
人類の宝であり、その心は、永遠に語り伝えられることでしょう。



日本の起源で「美」を拓く。
飛鳥アートヴィレッジ
公開制作

明日香村に現存する酒船石遺跡、亀型石造物などの石造物や石舞台古墳は大陸文化の影響を受けて築造され、石の文化が飛鳥時代に発達した。当時の飛鳥と活発な交流があった百済の故地、忠清北道の出身である石彫作家 崔 召東(チェ・ソドン)氏を招聘し、1400年前の文化交流に想いを馳せながら、これからの1000年を見据えた文化事業として開催。

令和6年2月11日(日) 奈良新聞



令和6年2月15日(木) 産経新聞

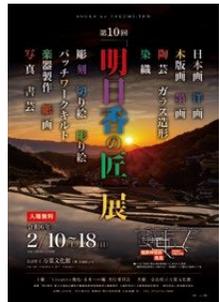


令和6年2月15日(木) 読売新聞



広報ツールのデザイン

「明日香の匠」展 B2ポスター



「明日香の匠」展 A4チラシ



「明日香の匠」展 DMハガキ



飛鳥アートヴィレッジ A4チラシ

